

人間社会学部／社会福祉コース	職名	准教授	氏名	奥村 賢一
----------------	----	-----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了、博士（社会福祉学）。私が現在行っている主な研究テーマは以下の三点になります。

一つ目は、「学校ソーシャルワーク実践に関する研究」です。近年、複雑多様化する不登校・いじめ・非行等の学校教育問題を解消していくためにスクールソーシャルワーカーに求められる専門的役割や機能について実証研究を中心に行っています。

二つ目は、「児童虐待防止に向けた家族支援に関する研究」です。わが国の深刻な社会問題である児童虐待を早期発見・未然防止していくために求められる家族支援の具体的方法について研究を行っています。

三つ目は、「知的障害・発達障害（児）者の地域生活支援に関する研究」です。知的障害・発達障害（児）者の地域生活の充実を推進していく動きが広まりを見せていますが、利用可能な社会資源は限られており、障害特性に対応した専門的支援も不足しているのが現状です。このような状況を改善していくための一つの方策として、地域の有機的ネットワークを活用したソーシャルワークを研究しています。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

<著書>

- ・奥村賢一（2017）「第5章 教育と福祉の協働を具体化するスクールソーシャルワーカー」藤林武史編『児童相談所改革と協働の道のりー子どもの権利を中心とした福岡市モデルー』, 明石書店, 186-210.
- ・金澤ますみ・奥村賢一・郭理恵. 野尻紀恵編（2016）『スクールソーシャルワーカー実務テキスト』, 学事出版.

<論文>

- ・奥村賢一「ネグレクト児童の支援におけるスクールソーシャルワーカーの役割に関する一考察ー小学校教員を対象としたアンケート調査からー」『福岡県立大学人間社会学部紀要』第26巻, 第2号, 2018年2月.
- ・奥村賢一「スクールソーシャルワーカーの立場から教師を支える」『こころの科学』第197号, 54-58, 2018年1月.
- ・住友雄資・畑 香理・平林恵美・奥村賢一・平川明美（2017）「2016年度教育実践報告：『精神保健福祉援助実習指導』・『精神保健福祉援助実習』一事前学習の充実と実習報告会に向けた取り組みを中心にー」『福岡県立大学人間社会学部紀要』第26巻, 第1号.
- ・住友雄資・畑 香理・平林恵美・奥村賢一・平川明美（2016）「2015年度教育実践報告：『精神保健福祉援助実習指導ー新カリキュラム完成年度の取り組みについてー』」『福岡県立大学人間社会学部紀要』第25巻, 第1号.
- ・奥村賢一（2016）「スクールソーシャルワーカーが相談対応する児童虐待の実態と実践課題ー配置型と派遣型の活動形態に焦点化してー」『福岡県立大学人間社会学部紀要』第24巻, 第2号.

<報告書>

- ・奥村賢一（2017）「福岡県スクールソーシャルワーカー協会5周年を迎えての回顧録」『福岡県スクールソーシャルワーカー協会5周年記念誌』.
- ・奥村賢一（2016）『ネグレクト防止に向けた学校ソーシャルワーク実践に関する基礎的研究』科学研究費助成事業（若手研究B）研究報告書.
- ・門田光司・鈴木庸裕・半羽利美佳・比嘉昌哉・大門俊樹・奥村賢一（2016）『スクールソーシャルワーカーのスーパービジョン・プログラム』科学研究費助成事業（基盤研究B）研究報告書.

<学会講演・シンポジウム・報告等>

- ・奥村賢一 (2016)「校種の違いによる学校で見えるネグレクトと対応方法の実際—スクールソーシャルワーカーの実践から—」日本子ども虐待防止学会第22回学術集会おおさか, 応募シンポジウム(大阪国際会議場), 2016年11月.
- ・奥村賢一 (2016)「子どもの貧困とスクールソーシャルワーカーの役割—子ども中心の支援について考える—」日本学校ソーシャルワーク学会九州沖縄部会第9回研究大会, 基調講演(沖縄国際大学).
- ・奥村賢一 (2016)「子どもの貧困と学校ソーシャルワーク」第30回自治体学会, 分科会(日田市民文化会館).

<書評>

- ・山下英三郎監修, 日本スクールソーシャルワーク協会編 (2016)『子どもにえらばれるためのスクールソーシャルワーク』『ソーシャルワーク研究』, 第42号, 第3巻.

③過去の主要業績

<著書>

- ・門田光司・奥村賢一 (2009)『スクールソーシャルワーカーのしごと—スクールソーシャルワーカーのための実践ガイド』中央法規出版.

<論文>

- ・奥村賢一 (2009)「不登校児童生徒の状況改善に向けた家族支援の有効性に関する一考察—パワー相互作用モデルを基盤にした学校ソーシャルワーク」『学校ソーシャルワーク研究』第4巻.
- ・奥村賢一 (2009)「ストレングスの視点を基盤にしたケースマネジメントの有効性に関する一考察—軽度知的障害者の地域生活支援実践を通して」『社会福祉学』第50巻, 第1号.

3. 外部研究資金

- ・科学研究費(基盤研究C)「不登校児童生徒の早期発見・未然防止に向けたスクリーニングシートの開発」208万円, 平成28年度~平成30年度.

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本社会福祉学会、日本学校ソーシャルワーク学会(副代表理事・査読委員)、日本ソーシャルワーク学会、日本子ども虐待防止学会、福岡県立大学社会福祉学会

6. 担当授業科目

<学部>学校ソーシャルワーク論・2単位・3年・後期、学校ソーシャルワーク実習指導・1単位、3年~4年・通年、学校ソーシャルワーク実習・2単位・4年・後期、相談援助の理論と方法C・2単位・2年・後期、相談援助演習B・4単位・3年・通年、社会福祉学演習・4単位・3年~4年・後期~前期、卒業論文・6単位・4年・後期、家族福祉論・2単位・3年・後期、3~4年・通年、不登校・ひきこもり援助論・2単位・1年・前期、子供学習支援論・1単位・1年・後期

<大学院>子ども家庭福祉研究・2単位・1・2年・前期、子ども家庭福祉演習・2単位・1・2年・後期

7. 社会貢献活動

- ・日本学校ソーシャルワーク学会・副代表理事
- ・福岡県スクールソーシャルワーカー協会・副会長

- ・福岡県教育委員会スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー
- ・福岡市教育委員会スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー
- ・福岡県重点課題研究推進連絡協議会・専門委員
- ・田川市要保護対策地域協議会代表者会議・委員
- ・福岡市いじめ防止対策推進委員会・副委員長
- ・香春町いじめ防止等対策委員会・副委員長
- ・糸島市いじめ防止等対策委員会・委員
- ・福岡県社会福祉審議会・臨時委員
- ・北九州市立今町小学校・学校関係者評価委員

他

8. 学外講義・講演

<講演>

- ・第6回 多様な学び実践研究フォーラム in 九州・分科会8「スクールソーシャルワーカーって何？家庭・学校・地域をつなげるキーマンの役割とは」福岡市市民福祉プラザ，2019年3月.
- ・日本福祉大学教育実践研究センター第2回オープンカレッジ「福岡県でのSSW事業の展開—福岡県立大学での人材養成を中心に—」日本福祉大学東海キャンパス，2019年3月.
- ・若市民生委員児童委員協議会定例会「子どもの貧困と児童虐待—今、私たちにできることを考える」マリーホール宮田，2019年3月.
- ・平成30年度 福岡県私学協会 人権・同和教育委員会「子ども虐待防止に向けた学校の役割—今、私たちにできること—」九州国際大学付属高等学校，2019年3月.
- ・平成30年度東広島市学校保健会養護教員部会研修会「問題を抱える子ども理解と家庭支援—今、私たちにできること—」広島県学校給食総合センター，2019年2月.
- ・平成30年度 スクールソーシャルワーカー等月例研修会（12月）「学校を基盤にしたソーシャルワーク実践—福岡県における取り組みを中心に—」香川県教育センター，2018年12月.
- ・中間市人権問題研修会「子どもの貧困と児童虐待—負の連鎖を断ち切るための支援について—」中間市中央公民館，2018年12月.
- ・田川市要保護児童対策地域協議会実務者会議研修会「被虐待環境で暮らす子どもや家族に対する面接技法—子どもや保護者との信頼関係づくり—」田川市役所，2018年11月.
- ・平成30年度筑前町要保護児童対策及び児童虐待防止対策研修会「子ども家庭を地域で支えるチームの力—今、私たちにできることを考える—」筑前町めくばーる学習館，2018年11月.
- ・那珂川市家庭教育学級公開講演会「子どもを守るために今、私たちにできること—ネグレクト問題について考える—」中央公民館，2018年11月.
- ・2018年度日本学校ソーシャルワーク学会北海道ブロック研修会「SSW・学校・地域の効果的関係とは—福岡県における取り組みを中心に—」北星学園大学，2018年11月.
- ・平成30年度全国適応指導教室連絡協議会四国・九州地域会議第24回福岡大会「エコロジカル視点で行うケースマネジメント—アセスメントとプランニングのコツ教えます—」福岡市教育センター，2018年11月.
- ・平成30年度福岡県高等学校養護教諭研究会筑豊支部第2回研修会「学校に求められるソーシャルワークの視点—スクールソーシャルワーカー入門編—」筑豊ハイツ，2018年11月.
- ・筑紫地区小・中・高生徒指導担当合同研修会「福祉的課題を抱える子どもの支援について考える—困った子は困っている子—」大野城市総合福祉センター，2018年10月.
- ・平成30年度第2回熊本市スクールソーシャルワーカー研修会「学校ソーシャルワークを基盤にした家族システムズアプローチ—基礎理論編—」熊本市こどもセンター，2018年10月.

- ・平成30年度福岡県公立中学校教頭会研究大会「要支援児童生徒の早期発見と未然防止に向けた校内体制作り—中学校に求められるソーシャルワークの視点—」福岡市教育センター，2018年10月.
- ・スクールソーシャルワーカー活用講座 in SGU 2018「スクールソーシャルワークの動向」四国学院大学リエゾンセンター，2018年9月.
- ・生徒指導等対応研修（第2回）「SSWの効果的活用について—学校で展開するソーシャルワーカー—」糸島市教育センター，2018年9月.
- ・第4回 福岡市立校長会人権教育研修会「子どもの貧困問題とSSWとの連携—地域で育む支援ネットワークづくり」福岡市教育センター，2018年9月.
- ・平成30年度「スクールソーシャルワーカー活用事業」研修会「SSWと学校の協働の在り方—子どもの貧困と虐待を中心に—」鹿児島県庁，2018年9月.
- ・平成30年度スクールソーシャルワーカー活用事業に係る連絡協議会「SSWの10年と今後の課題について—学校で求められるソーシャルワークの再考—」アバンセ（佐賀県），2018年8月.
- ・平成30年長崎市教育研究所夏季研修講座「子どもの貧困から考える学校の役割—チームアプローチの実践に向けて—」長崎市民会館，2018年8月.
- ・平成30年度田川郡中学校教育研究会夏季研修会「子どもの貧困から考える学校の役割—ソーシャルワークの視点から—」香春町民センター，2018年8月.
- ・平成30年度福岡市要保護児童対策調整機関の調整担当者研修「子ども家庭支援のためのソーシャルワーク（講義編・演習編）」福岡市職員研修センター，2018年8月.
- ・平成30年度志免町教職員全員研修会「明日につなぐ支援に向けて—子どもを育むネットワークづくり—」志免町民センター，2018年8月.
- ・下関市教育委員会平成30年度つなぐ生徒指導研修会「地域で子どもを育むための連携と協働—今、私たちにできることを考える—」下関市教育センター，2018年6月.
- ・福岡市教育委員会第2回スクールソーシャルワーカー連絡協議会「スクールソーシャルワーカーと学校の協働の在り方—ソーシャルワークの効果的活用法」福岡市教育センター，2018年6月.
- ・筑紫野市教育委員会不登校対策相談員兼指導員研修会「不登校児童生徒に対する支援—アセスメントとプランニングを中心に—」筑紫野市役所，2018年6月.
- ・平成30年度福岡教育事務所福岡地区適応指導教室連絡協議会「不登校児童生徒のアセスメントとプランニング」福岡県吉塚合同庁舎，2018年6月.
- ・平成30年度福岡市要保護児童対策調整機関調整担当者研修「要保護児童対策地域協議会の運営」福岡市こども総合相談センター，2018年4月.
- ・平成30年度福岡県児童福祉司任用前講習会「ソーシャルワークの基本」福岡県福岡児童相談所等庁舎，2018年4月.
- ・平成30年度大野城市立小・中学校スクールソーシャルワーカー活用連絡協議会「スクールソーシャルワーカーの効果的活用に向けて」大野城市役所，2018年4月.

他

<メディア>

- ・有明新報「チームでどう対応する—子ども支援ネット研修会協働の重要性理解」4面2018年8月18日.

9. 附属研究所の活動等

- ・不登校・ひきこもりサポートセンター教員スタッフ
- ・生涯福祉研究センター教員スタッフ